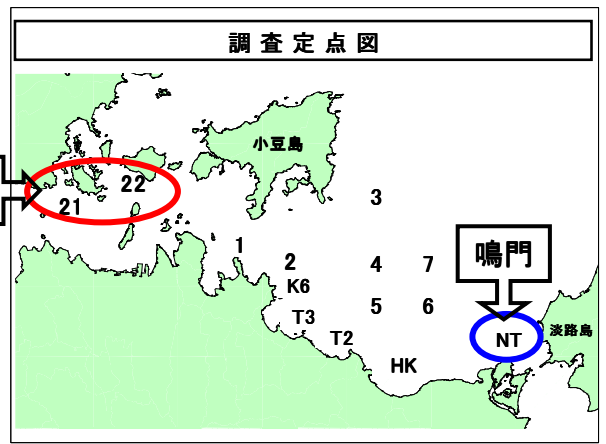


カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2009. 7- 1)

香川県水産試験場 宮川

TEL: 087-843-6511



浅海定線調査結果

調査日: 7月2日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点(中旬のみ)

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.7.5	0	1	77	129	74	164	69	20	2	1	2				49.0	
2007.7.4	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0				0.3	0.3
2008.7.2	3	58	7	2	44	37	2	15	0	5	3	0	0	509	16.0	48.9
2009.7.2	0	3	36	5	2	1	4	0	0	0	0	0	0	-	4.6	3.9

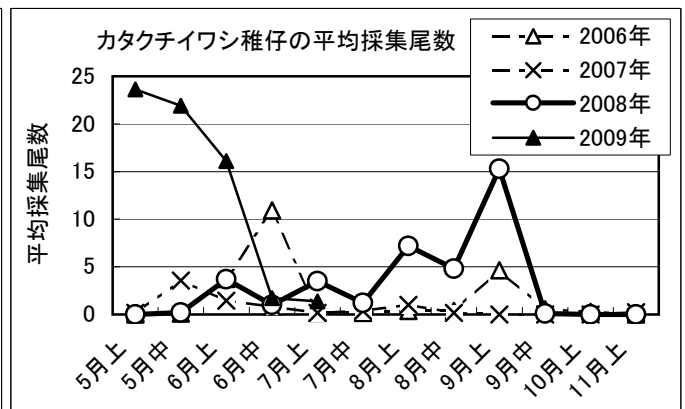
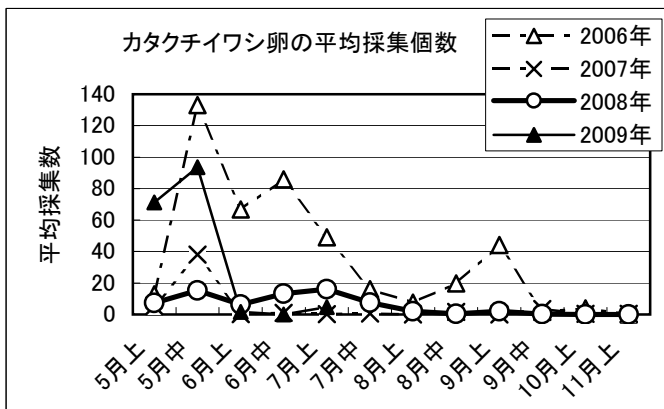
【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.7.5	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0				0.2	
2007.7.4	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0				0.2	0.2
2008.7.2	1	6	4	4	12	0	1	3	2	0	6	0	0	0	3.5	2.8
2009.7.2	0	0	6	3	3	0	1	1	0	1	0	0	0		1.4	1.2

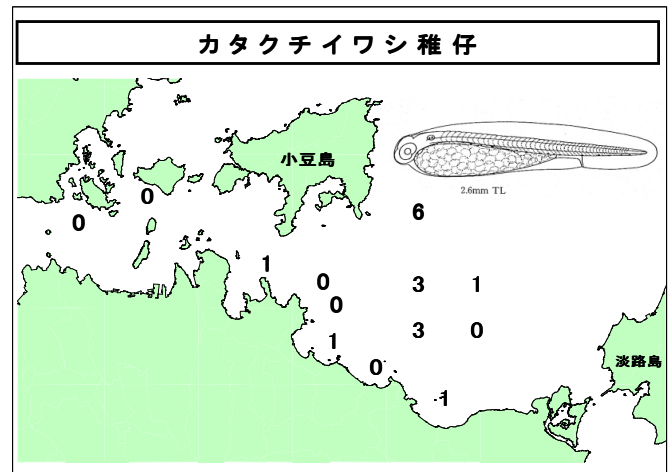
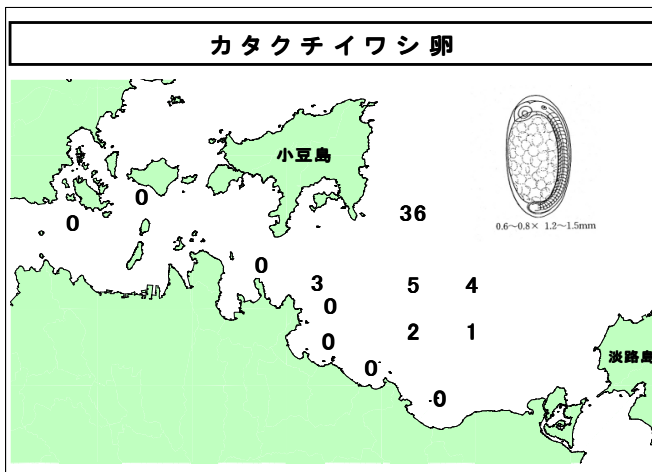
* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は約 4.6個となり、昨年同時期を下回った。卵は沖合いでの出現数が多かった。

一方、稚仔の出現は平均で約 1.4尾となり、昨年同時期を下回った。稚仔の出現はわずかに認められる程度となり、播磨灘での稚仔の出現が少ない傾向を示した。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、6月中旬以降の水温は平年並みに推移している。